

献体107人冥福祈る

岡山大遺族や学生慰霊祭

昨年10月から1年間、部長は「医学の発展に亡くなり、岡山大医 学部・歯学部の解剖実習などに献体した人の冥福を祈る慰霊祭が29日、岡山市北区鹿田町、Jホールでしめやかに営まれた。

人体の構造を学んだり、病気の原因を究明したりするために協力した107人を供養。遺族や学生、教職員ら約600人が黙とうした後、祭壇に献花して手を合わせた。

志に深く感謝します」と感謝の言葉を述べ、

歯学部歯学科4年の山田航さん(29)が「献体された方のために、もいっそう勉学に励みたい」と決意を語った。

（南原久人）

思いを受け継いでくれることを期待した。

遺族代表が「学生がますます研さんし、医療の分野で活躍されることを願っています」と協力者の

献体者を供養した慰霊祭で献花する学生たち



岡山大の大塚愛二医学部長と窪木拓男歯学

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。